

研究発表題目（公募セッション ポスター発表）3月8日

T1 生物多様性保全と森林管理	T2 森林環境の持つ保健休養機能の基礎的研究と応用研究 —森林+αの可能性—	T3 森林の放射能研究	T5 樹木根の成長と機能
PT1-1 # 森林植生の空間的变化および長・短期的変化が鳥類群集に及ぼす影響：柴山潤太（名古屋大学）ら	PT2-1 # 樹木の葉の他感作用—揮発成分と溶脱成分の検定法による違い—：丸山真依（東京農業大学大学院）ら	PT3-1 福島県森林域の空間線量率および針葉樹 ¹³⁷ Cs 濃度変化の中長期的な推移：山村充（国土防災技術株式会社）ら	PT5-1 # ボルネオ熱帯低地林におけるNP 施肥に対する根滲出物速度の種特異的応答：平野侑（東京農業大学）ら
PT1-2 # スギ・ヒノキ小面積皆伐実施地における下層植生の17年間の変化：赤池友樹（宮崎大学）ら	PT2-2 # 東京都立公園における季節変化と散策前後の気分変化：斎藤乃桜（東京農業大学）ら	PT3-2 植栽木の樹種による放射性セシウム面移行係数の違い：齋藤直彦（福島県林業研究センター）ら	PT5-2 日本の森林生態系における土壌深度別の細根形質と土壌栄養塩可給性との関係：向井真那（山梨大学）ら
PT1-3 マレーシア・サラワク州における生物保護区の管理と法的枠組み：山下聡（森林総合研究所）ら		PT3-3 事故後5年目の落葉除去がスギ材の放射性セシウム濃度に及ぼす影響：大前芳美（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	PT5-3 # 中間温帯針広混交林における樹木の吸水深度の季節変動：勝浦柊（名古屋大学）ら
PT1-4 宮城県名取市の里山に生息する野ネズミ類：鳥羽妙（尚絅学院大学）		PT3-4 林床管理の違いが分解にともなう落葉中の放射性セシウム濃度に及ぼす影響：市川貴大（くまの木里山応援団）ら	PT5-4 # 中央アルプスの亜高山帯林における標高勾配に沿った土壌呼吸および根呼吸：坂本小雪（信州大学）ら
PT1-5 岩手県におけるアカマツに関わる地域文化と生物多様性：深町加津枝（京都大学）ら		PT3-5 カリウム施肥による森林土壌における土壌交換性カリウム濃度分布の変化：長奉秀和（福島県林業研究センター）ら	PT5-5 スギ林における根の土壌補強強度を推定する：藤堂千景（兵庫県立農林水産技術総合センター）ら
		PT3-6 施肥・施業の違いがワラビの ¹³⁷ Cs 吸収に与える影響Ⅱ：井上美那（国土防災技術株式会社）ら	PT5-6 # クロマツ2段水平根の年輪解析に基づく発達順序の解明：上田悠馬（名古屋大学）ら
		PT3-7 シイタケ原木の ¹³⁷ Cs 分布と子実体 ¹³⁷ Cs 移行係数の関係：小林勇介（福島県林業研究センター）ら	PT5-7 異なる湛水水位がクロマツ苗根系の引き抜き抵抗力に及ぼす影響：藤田早紀（森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら
		PT3-8 ハンドヘルド蛍光 X 線分析計によるコナラ木材標本の無機成分測定を試み：眞中卓也（森林総合研究所）ら	PT5-8 # 土壌表層から根系最大深さに至るまでのスギ細根形態特性：柳瀬亮太（名古屋大学）ら
		PT3-9 コナラ萌芽更新木における各部位 ¹³⁷ Cs 濃度の季節変化：小川秀樹（福島県林業研究センター）ら	PT5-9 斜面の異なる位置に生育するヒノキの根呼吸および細根動態：小林元（信州大学）ら
		PT3-10 # コナラ樹体および落葉の放射性セシウム分布と空間変動：瀧上百々（宇都宮大学大学院）ら	PT5-10 # ヒノキ林表層土壌における脱落根採取法の提案：黒見信輔（名古屋大学大学院）ら
		PT3-11 # 森林源流部からの溶存態 Cs-137 流出メカニズム：永田祐太郎（筑波大学）ら	PT5-11 ササ除去が森林土壌の窒素動態に及ぼす影響：複数サイトにおける観測から：福澤加里部（北海道大学）ら
		PT3-12 # 福島県におけるスギ林土壌中の Cs-137 の空間分布に対する選択流の影響：三嶋駿介（筑波大学）ら	PT5-12 # 細根解剖特性の季節変動：原生木部数の割合は季節によって変わるのか？：細井彩（信州大学大学院）ら
		PT3-13 水生昆虫の枯死葉摂食による溪流の微細有機物生産と放射性セシウムの関係：金指努（福島大学）ら	PT5-13 モウソウチク林の根系動態にスキヤナー法での撮影地点数が与える影響評価：遠藤いず貴（兵庫県立大学）ら
		PT3-14 福島の落葉樹林斜面における土壌 ¹³⁷ Cs 蓄積量の時空間変動：小田智基（森林総合研究所）ら	PT5-14 # スギ林土壌の巨根の有無に着目した二周波地中レーダによる推定根系の比較：金子祥也（名古屋大学大学院）ら
		PT3-15 2022-2023年の葉・外樹皮が樹幹流放射性セシウム濃度に与える影響：坂下渉（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	
		PT3-16 森林源流域および下流域において水質が溶存態放射性 Cs の動態に与える影響：戸村光祐（筑波大学大学院）ら	
		PT3-17 福島県におけるスギ細根中 Cs-137 の経年変化と下方移行に対する転流の影響：高橋純子（筑波大学）ら	